

市役所一階ロビーに「元気カフェ」がオープン

障がいのある方が働く、気軽に利用できるカフェです

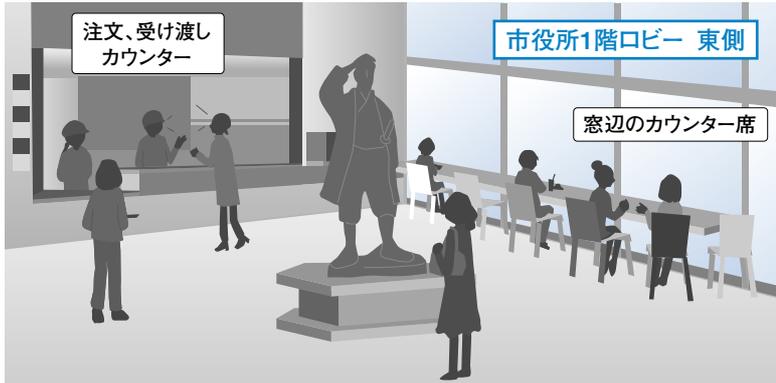
障がいのある方がコーヒーなどの飲み物と、パンやクッキーなどの軽食を販売する「元気カフェ」を、市役所(1階)ロビーに開設します。

元気カフェは、障がいのある方の働く場をつくり、市民との交流の場を増やすために開設するもの。同時に、市民に障がいに対する理解を深めてもらうことを目指します。ロビー内には、道産カラマツ材のベンチやテーブルなどを新設。気軽にくつろげる憩いの空間になります。

市役所に来た際にはもちろん、待ち合わせ場所として、どうぞご利用ください。

【詳細】障がい福祉課☎(211)2936

クーポン



9月21日(火)午前10時
オープン

【営業日時】
月曜～金曜(祝・休日を除く)
午前8時～午後6時

主なメニュー

運営者は「宮田屋珈琲」です。本格的な味をお手ごろ価格で提供します。

- ブレンドコーヒー... 250円
- アイスコーヒー.....250円
- 紅茶..... 250円

そのほか、ソフトドリンクや市内福祉施設で作ったパン、クッキーなどを販売予定

マイボトルを持参し、コーヒーを購入すると1杯分(150cc)が50円引き!

家庭読書フォーラム

読書や話題の本をテーマにしたステージイベントを開催するほか、電子書籍を実際に体験できるコーナーなどを設けます。

日時:10/9(土)・10(日)
(正午～午後5時)
会場:市民ホール(中央区北1西1)

ステージイベント		【会場】大ホール
10/9(土)	午後1時30分～4時20分	・あなたに読んでほしい本をテーマに作家の石田衣良さんらが対談 ・電子書籍の登場と読書の未来について語り合うシンポジウム
10/10(日)	午後2時40分～4時40分	・人気児童文学「怪談レストラン」などを読み語りパフォーマンスで上演 ・障がいを持つトラ「タイガとココア」の軌跡を釧路動物園園長が語る



写真提供 文藝春秋

9日(土)は人気作家の石田衣良さんが登場!

当日は入場料として読まなくなった本を提供してください

「札幌市家庭読書の日」の十月九日(土)から、約一カ月間にわたり読書に関する催しを市内各所で行う、家庭読書フェスティバルが始まります。このフェスティバルは、子どもを中心とした市民に読書の楽しさに気付いてもらい、

【詳細】市コールセンター☎(222)4894

自ら進んで読書をするきっかけをつくるもの。人気作家を招いてのフォーラムや本のリサイクル交換市のほか、市立図書館で講演会などを行います。ぜひご参加ください。

さっぽろ家庭読書フェスティバルを開催

読書の楽しさを伝える催しを約一カ月間行います

定員各日1,500人
申込電話、ファクス、Eメール。住所、氏名、電話番号、参加希望日と人数を記入し、9/20(祝)までに市コールセンター(1階)へ。多数時抽選

ほかにもイベントがいろいろ!

本のリサイクル交換市	詳しくは、19☎のお知らせをご覧ください。
「鉄読」プロジェクト	家庭読書フォーラムで回収した本を、地下鉄駅のメトロ文庫に設置。通勤・通学などの際に、より読書に親しむことができます。
秋の図書館フェスティバル	10/16(土)～11/14(日)に各市立図書館で講演会や人形劇、1日司書体験などを実施します。詳しくはお問い合わせください。

家庭読書フェスティバルに関する詳しい情報は、www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/dokusyo_fes/fes_top.htmlでもご覧いただけます。